

## いばらきネットモニター 警察の広報活動に関するアンケート結果

### 1 調査目的

警察の広報媒体への接触率や利用したいと思う媒体についての調査及び地域の防犯活動に対する意識についての調査を行い、効果的な広報活動を行うための基礎資料とする。

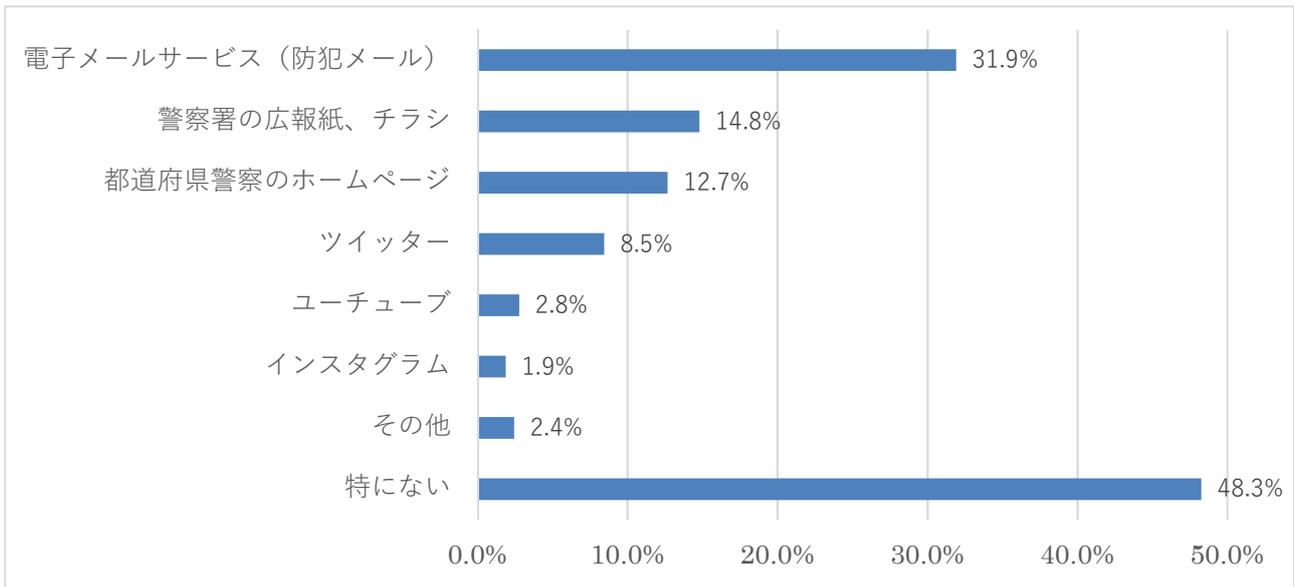
### 2 結果の概要

- ・警察が広報する情報提供媒体で、登録したり日常的に閲覧しているものとして、最も高い割合の項目は、「電子メールサービス（防犯メール）」であり、31.9%であった。また、特にないが48.3%であった。
- ・警察が情報提供に使用している媒体で、利用したい（見たい）と思う媒体は、「電子メールサービス（防犯メール）」が、46.7%で最も多く、次いで「警察署の広報紙、チラシ」が33.3%であった。また、特にないが13.7%であった。
- ・事件事故を減らすため、警察の活動以外で重要だと思うものの内、最も高い割合の項目は、「地域コミュニティでの防犯活動（自治会や子供会、PTA、防犯ボランティア等地域住民が中心となり、自治体・学校・警察・事業者等と連携し行う防犯活動）」であり、45.2%であった。
- ・地域コミュニティ（自治会や子供会、PTA、防犯ボランティア等）の一員として防犯等に関する活動の機会があった場合、参加しやすいと思う活動は、「地域のパトロール」が、40.9%で最も多く、次いで「子供の登下校時の見守り」が38.9%であった。

【問1】（警察からの情報の入手方法）

あなたは、お住まいの自治体の警察が広報する情報提供媒体で、登録したり日常的に閲覧しているものはありますか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。

(n=899)



○ 「電子メールサービス（防犯メール）」が、31.9%で最も多く、「警察署の広報紙、チラシ」が14.8%と続く。また、「特にない」が48.3%であった。

	回答数	比率 (%)
電子メールサービス（防犯メール）	287	31.9
警察署の広報紙、チラシ	133	14.8
都道府県警察のホームページ	114	12.7
ツイッター	76	8.5
ユーチューブ	25	2.8
インスタグラム	17	1.9
その他	22	2.4
特にない	434	48.3
合計	1,108	—

※ 茨城県警察では、ホームページや公式SNS等を通して様々な情報を発信しています。  
また、令和5年3月1日から、新たな情報発信ツールとして茨城県警察防犯アプリ「いばらきポリス」を開始しました。ぜひご利用ください。

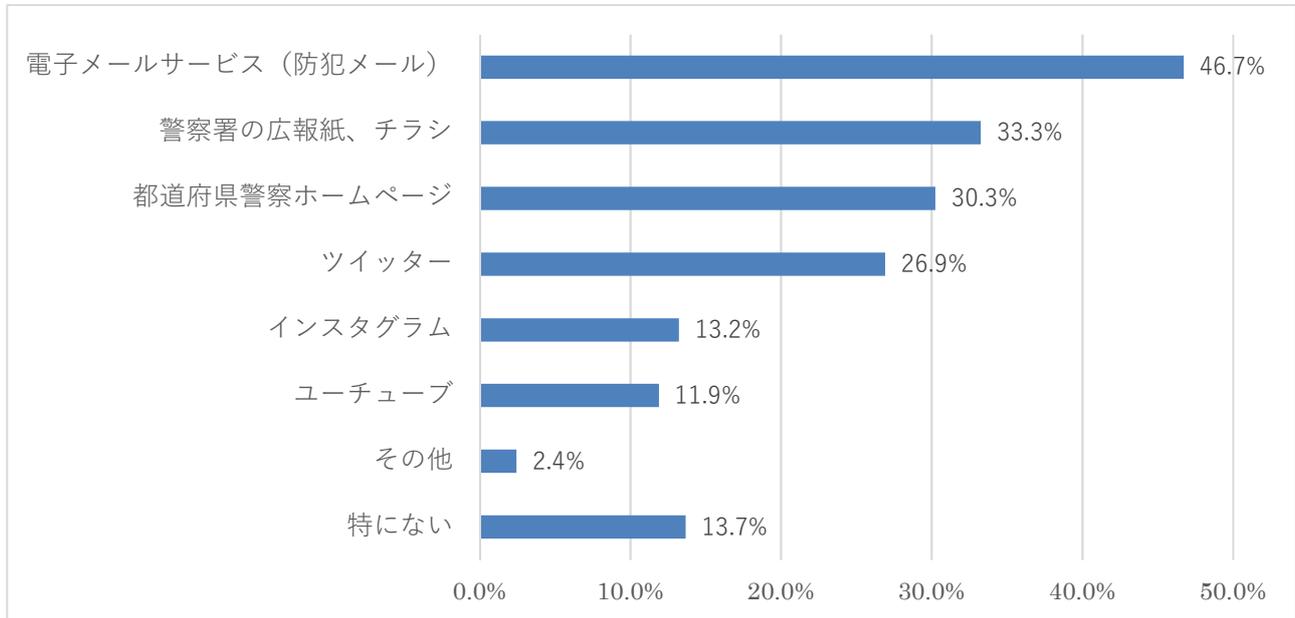
- ・茨城県警察ホームページ：<https://www.pref.ibaraki.jp/kenkei/index.html>
- ・茨城県警察公式SNS：[https://www.pref.ibaraki.jp/kenkei/under/public\\_sns.html](https://www.pref.ibaraki.jp/kenkei/under/public_sns.html)
- ・茨城県警察防犯アプリ「いばらきポリス」：

[https://www.pref.ibaraki.jp/kenkei/a01\\_safety/security/ibarakipolice.html](https://www.pref.ibaraki.jp/kenkei/a01_safety/security/ibarakipolice.html)

【問2】（利用したい情報提供媒体）

あなたは、警察が情報提供に使用している以下の媒体で、利用したい（見たい）と思うものはどれですか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。

(n=899)



○ 「電子メールサービス（防犯メール）」が、46.7%で最も多く、「警察署の広報紙、チラシ」が33.3%と続く。

○ 「その他」（2.4%）として、次のような意見が挙げられた。

・LINE

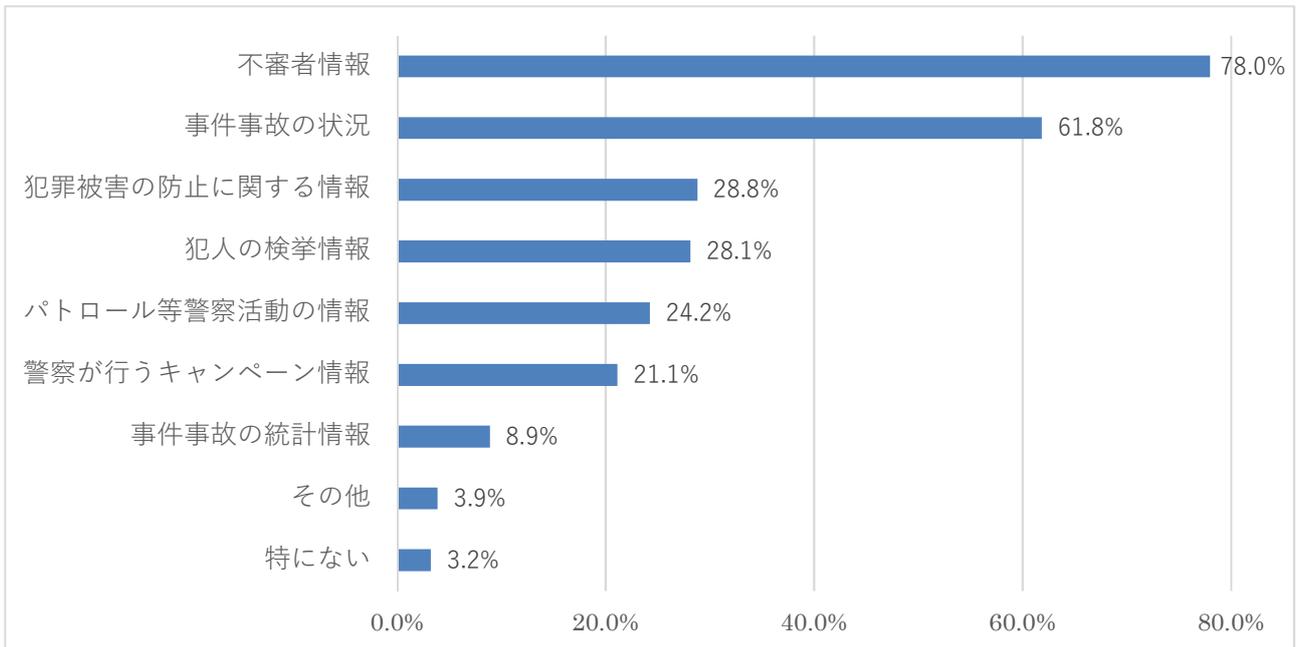
など、22件のご意見があった。

	回答数	比率 (%)
電子メールサービス（防犯メール）	420	46.7
警察署の広報紙、チラシ	299	33.3
都道府県警察ホームページ	272	30.3
ツイッター	242	26.9
インスタグラム	119	13.2
ユーチューブ	107	11.9
その他	22	2.4
特にない	123	13.7
<b>合計</b>	1,604	—

【問3】（提供してほしい情報）

あなたは、警察からどのような情報を提供してほしいと思いますか。次の中からあてはまるものを最大3つまで選んでください。

(n=899)



○ 「不審者情報」が、78.0%で最も多く、「事件事故の状況」が61.8%と続く。

○ 「その他」(3.9%)として、次のような意見が挙げられた。

- ・ 自宅近辺の犯罪の手口や防止方法
- ・ 茨城県内の、ニセ電話詐欺、空巢、強盗、車の窃盗などの、分布、現状、傾向、犯人像などの情報
- ・ 凶悪事件発生後の迅速な注意喚起

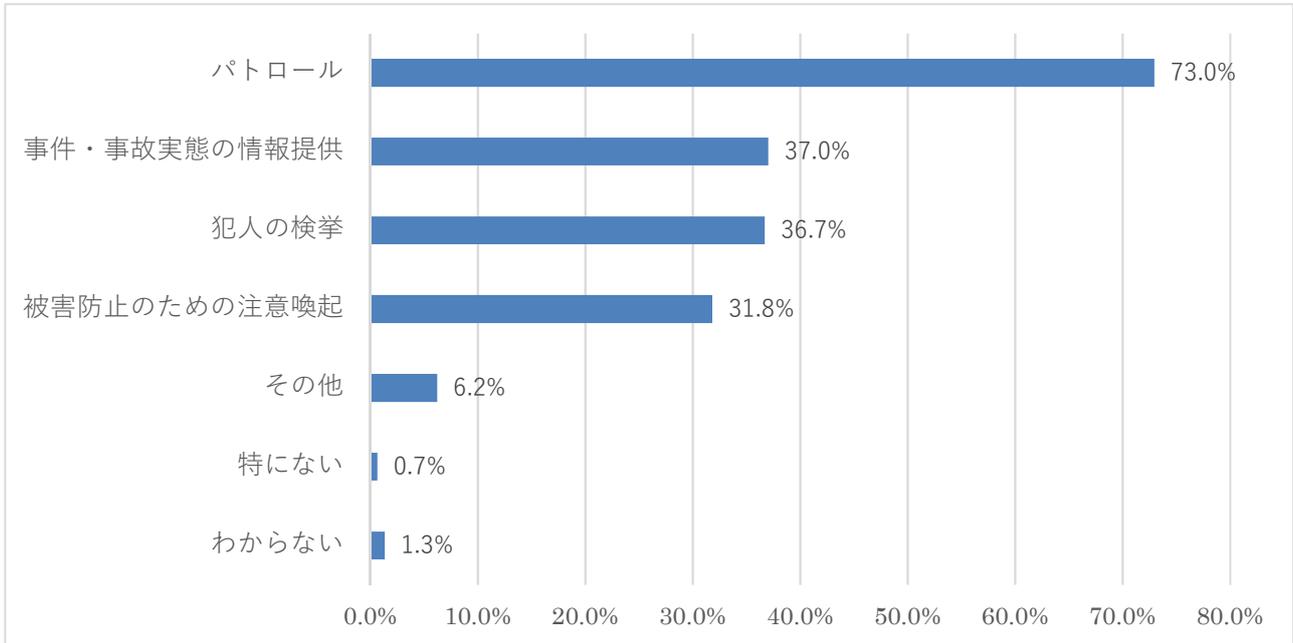
など、35件のご意見があった。

	回答数	比率 (%)
不審者情報	701	78.0
事件事故の状況	556	61.8
犯罪被害の防止に関する情報	259	28.8
犯人の検挙情報	253	28.1
パトロール等警察活動の情報	218	24.2
警察が行うキャンペーン情報	190	21.1
事件事故の統計情報	80	8.9
その他	35	3.9
特になし	29	3.2
<b>合計</b>	2,321	—

【問4】（事件事故を減らすための対策）

あなたは、事件事故を減らすため、警察はどのような対策が重要だと考えますか。次の中からあてはまるものを最大2つまで選んでください。

(n=899)



○ 「パトロール」が、73.0%で最も多く、「事件・事故実態の情報提供」が37.0%と続く。

○ 「その他」(6.2%)として、次のような意見が挙げられた。

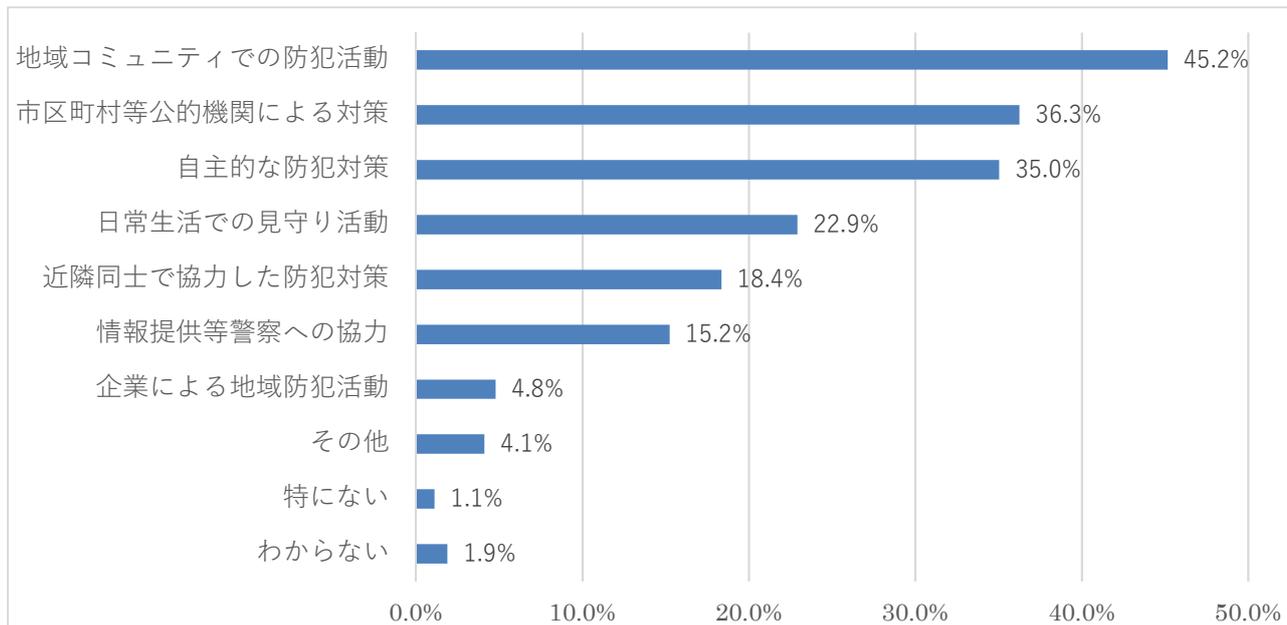
- ・防犯カメラの設置
- ・地域との密な連携や親しみやすさ

など、56件のご意見があった。

	回答数	比率 (%)
パトロール	656	73.0
事件・事故実態の情報提供	333	37.0
犯人の検挙	330	36.7
被害防止のための注意喚起	286	31.8
その他	56	6.2
わからない	12	1.3
特にない	6	0.7
合計	1,679	—

【問5】（事件事故を減らすための警察以外の対策）

あなたは、事件事故を減らすため、警察の活動以外でどのようなことが重要だと思いますか。次の中からあてはまるものを最大2つまで選んでください。（n = 899）



○ 「地域コミュニティでの防犯活動（自治会や子供会、PTA、防犯ボランティア等地域住民が中心となり、自治体・学校・警察・事業者等と連携し行う防犯活動）」が、45.2%で最も多く、「市区町村等公的機関による対策」が36.3%と続く。

○ 「その他」（4.1%）として、次のような意見が挙げられた。

- ・ 防犯カメラの設置
- ・ 街灯の整備

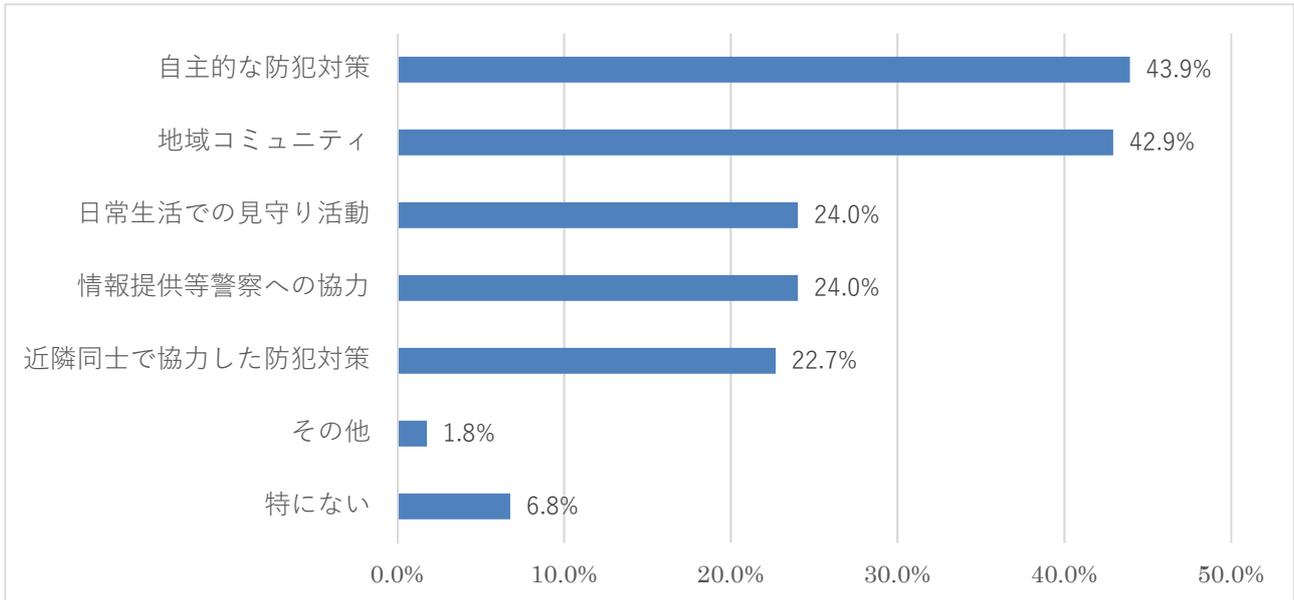
など、37件のご意見がありました。

	回答数	比率 (%)
地域コミュニティでの防犯活動（自治会や子供会、PTA、防犯ボランティア等地域住民が中心となり、自治体・学校・警察・事業者等と連携し行う防犯活動）	406	45.2
市区町村等公的機関による対策	326	36.3
自主的な防犯対策	315	35.0
日常生活での見守り活動	206	22.9
近隣同士で協力した防犯対策	165	18.4
情報提供等警察への協力	137	15.2
企業による地域防犯活動	43	4.8
その他	37	4.1
特にない	10	1.1
わからない	17	1.9
<b>合 計</b>	1,662	-

【問6】（関心のある取組）

問5に関連し、あなたが関心のある取組はどれですか。次の中からあてはまるものを最大2つまで選んでください。

(n = 899)

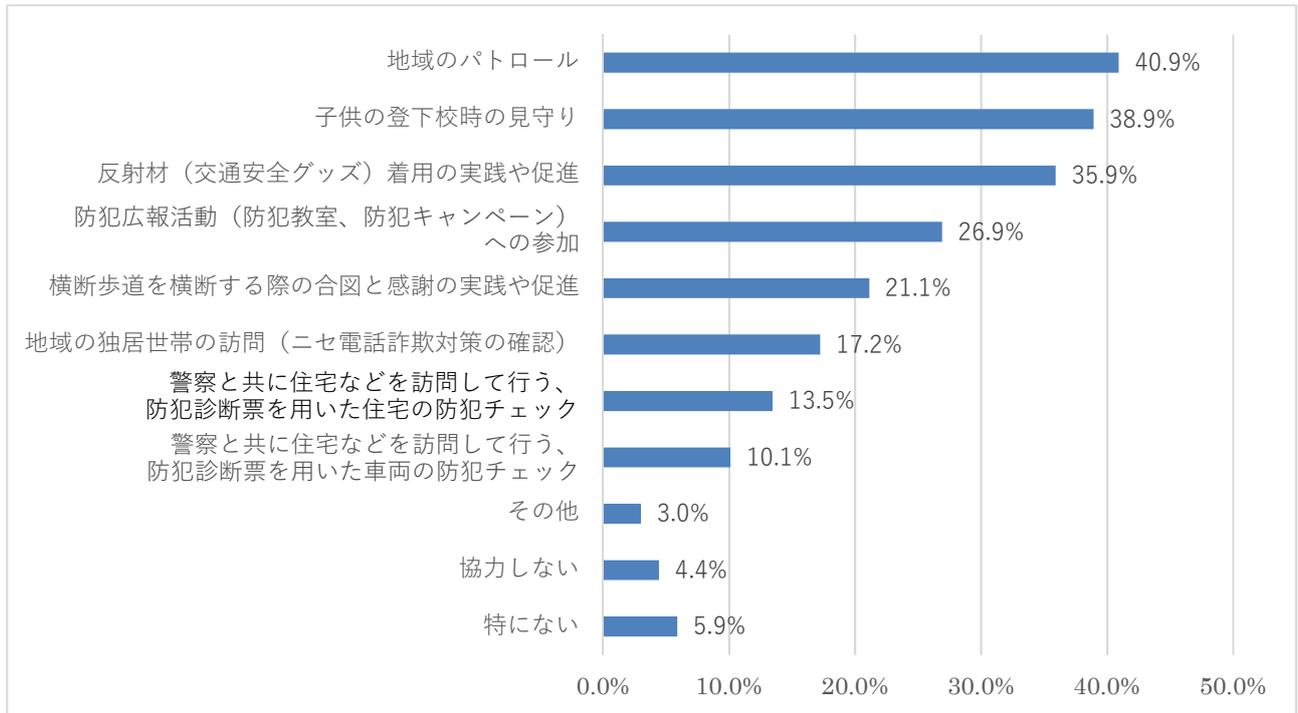


○ 「自主的な防犯対策」が、43.9%で最も多く、「地域コミュニティ（例：自治会や子供会、PTA、防犯ボランティア等）による防犯活動」が42.9%と続く。

	回答数	比率 (%)
自主的な防犯対策	395	43.9
地域コミュニティ（例：自治会や子供会、PTA、防犯ボランティア等）による防犯活動	386	42.9
情報提供等警察への協力	216	24.0
日常生活での見守り活動	216	24.0
近隣同士で協力した防犯対策	204	22.7
その他	16	1.8
特にない	61	6.8
<b>合計</b>	1,494	—

【問7】（地域コミュニティでの防犯活動）

地域コミュニティ（自治会や子供会、PTA、防犯ボランティア等）の一員として防犯等に関する活動の機会があった場合、あなたが参加しやすいと思う活動は何ですか。次の中からあてはまるものを最大3つまで選んでください。 (n=899)



- 「地域のパトロール」が、40.9%で最も多く、「子供の登下校時の見守り」が38.9%と続く。
- 「その他」（3.0%）として、次のような意見が挙げられた。

- ・警察署協議会への参加
- ・犯罪の起きにくい街づくりに関しての勉強会

など、27件のご意見がありました。

	回答数	比率 (%)
地域のパトロール	368	40.9
子供の登下校時の見守り	350	38.9
反射材（交通安全グッズ）着用の実践や促進	323	35.9
防犯広報活動（防犯教室、防犯キャンペーン）への参加	242	26.9
横断歩道を横断する際の合図と感謝の実践や促進	190	21.1
地域の独居世帯の訪問（ニセ電話詐欺対策の確認）	155	17.2
警察と共に住宅などを訪問して行う、防犯診断票を用いた住宅の防犯チェック	121	13.5
警察と共に住宅などを訪問して行う、防犯診断票を用いた車両の防犯チェック	91	10.1
その他	27	3.0
協力しない	40	4.4
特にない	53	5.9
<b>合計</b>	<b>1,960</b>	<b>—</b>

※ 茨城県警察では、警察官が防犯ボランティア等と共に住宅などを訪問し、家主や管理人、車の所有者等に、対面で犯罪の被害に合わないよう、防犯に関する助言を行う防犯診断を行っています。詳しくは、茨城県警察ホームページをご覧ください。

茨城県警察 HP「やってみませんか？防犯診断」:

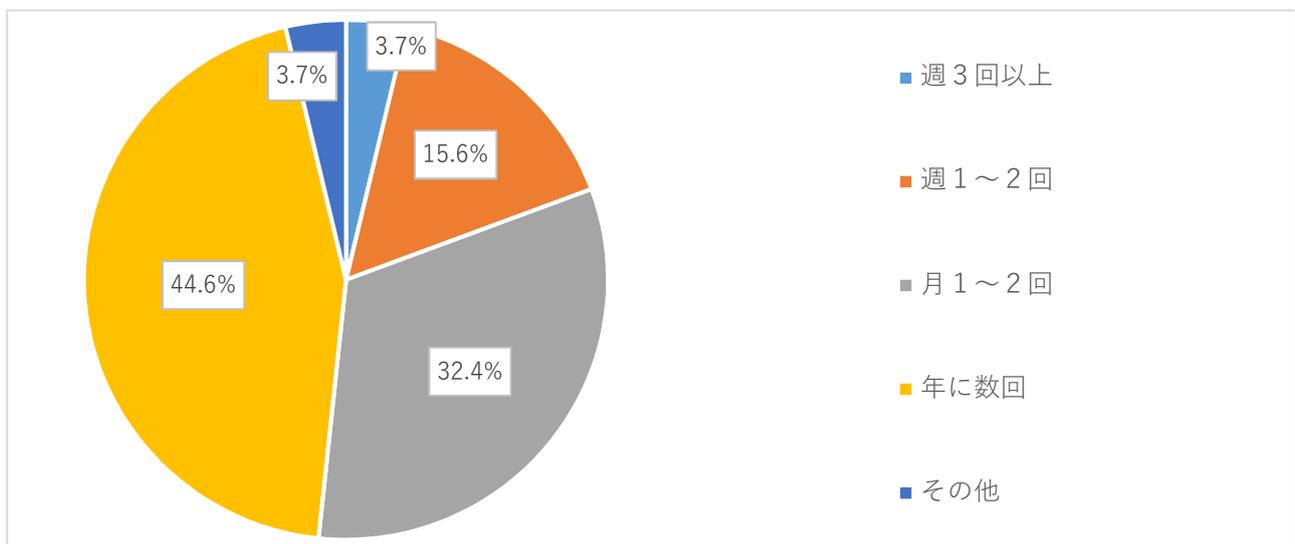
[https://www.pref.ibaraki.jp/kenkei/a01\\_safety/security/bouhan-shindan.html](https://www.pref.ibaraki.jp/kenkei/a01_safety/security/bouhan-shindan.html)

【問8】(防犯活動に参加できる頻度)

(問7で「協力しない」以外を回答した方へ)

地域コミュニティ(自治会や子供会、PTA、防犯ボランティア等)の一員として防犯等に関する活動の機会があった場合、あなたが協力可能な頻度はどのくらいですか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

(n=859)



○ 「年に数回」が、44.6%で最も多く、「月1~2回」が32.4%と続く。

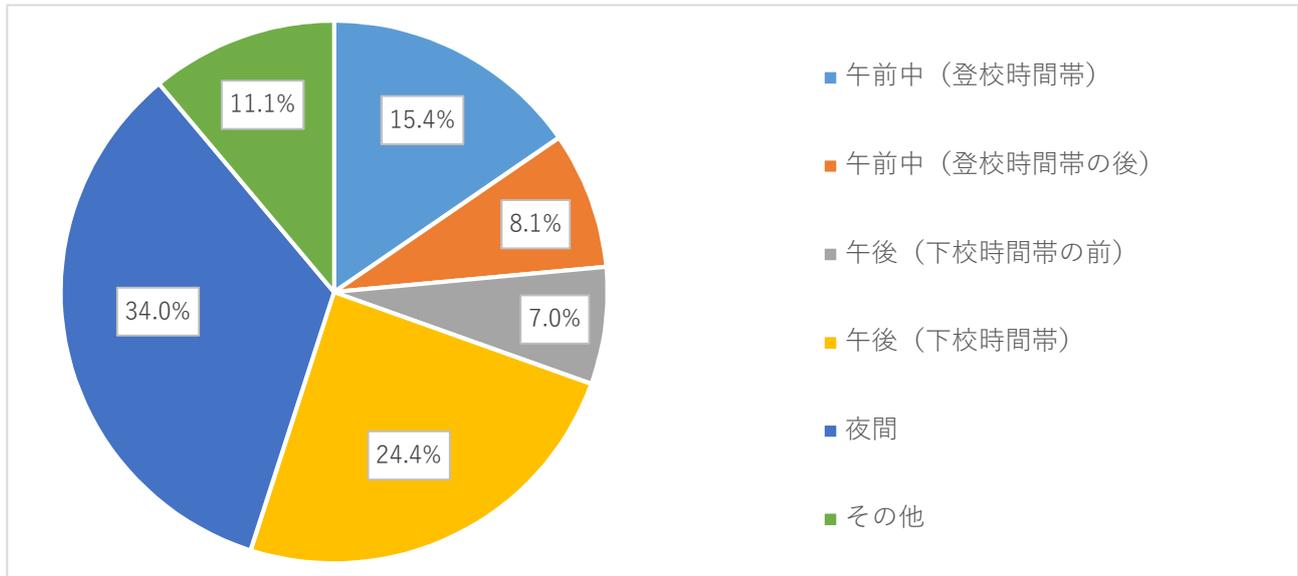
	回答数	比率 (%)
週3回以上	32	3.7
週1~2回	134	15.6
月1~2回	278	32.4
年に数回	383	44.6
その他	32	3.7
合計	859	100.0

【問9】（防犯活動に参加できる時間帯）

（問7で「協力しない」以外を回答した方へ）

地域コミュニティ（自治会や子供会、PTA、防犯ボランティア等）の一員として防犯等に関する活動の機会があった場合、参加しやすい時間帯はいつですか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

(n=859)



○ 「夜間」が、34.0%で最も多く、「午後（下校時間帯）」が24.4%と続く。

○ 「その他」（11.1%）として、次のような意見が挙げられた。

- ・仕事の都合による
- ・休日

など、95件のご意見がありました。

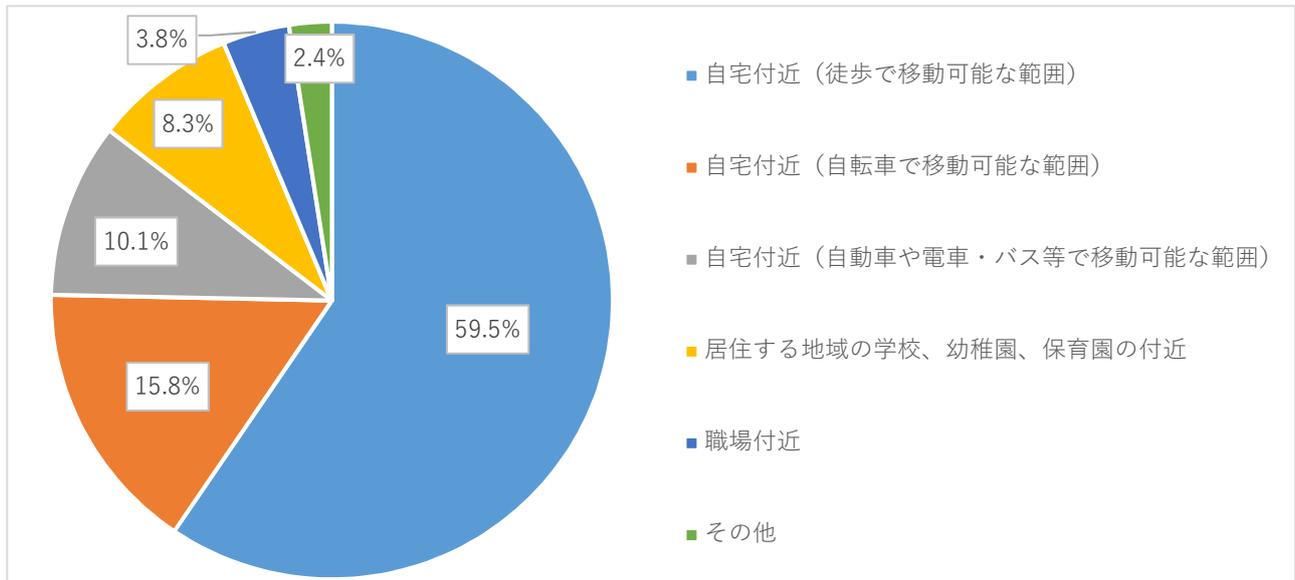
	回答数	比率 (%)
午前中（登校時間帯）	132	15.4
午前中（登校時間帯の後）	70	8.1
午後（下校時間帯の前）	60	7.0
午後（下校時間帯）	210	24.4
夜間	292	34.0
その他	95	11.1
<b>合計</b>	<b>859</b>	<b>100.0</b>

【問 10】（防犯活動に参加できる地域）

（問 7 で「協力しない」以外を回答した方へ）

地域コミュニティ（自治会や子供会、PTA、防犯ボランティア等）の一員として防犯等に関する活動の機会があった場合、参加しやすい地域（範囲）はどのくらいですか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

(n=859)



○ 「自宅付近（徒歩で移動可能な範囲）」が、59.5%で最も多く、「自宅付近（自転車で移動可能な範囲）」が15.8%と続く。

	回答数	比率（%）
自宅付近（徒歩で移動可能な範囲）	511	59.5
自宅付近（自転車で移動可能な範囲）	136	15.8
自宅付近（自動車や電車・バス等で移動可能な範囲）	87	10.1
居住する地域の学校、幼稚園、保育園の付近	71	8.3
職場付近	33	3.8
その他	21	2.4
合計	859	100.0

3 アンケート結果を受け、今後の事業展開・アンケートの活用方法等について

◆ 県民の自助共助意識の向上につながる有益な情報を様々な形で発信する。

#### 4 調査の概要

##### (1) 調査形態

調査時期：令和5年2月6日（月）～2月19日（日）

調査方法：インターネット（アンケート専用フォームへの入力）による回答

モニター数：1,341名

回収率：67.0%（899名）

回答者の属性：以下の通り。ただし、百分率表示は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、個々の比率の合計は100%にならない場合がある。

		人数（人）	比率（%）
全体（n）		899	100.0
地域別	県北	71	7.9
	県央	274	30.5
	鹿行	50	5.6
	県南	302	33.6
	県西	67	7.5
	県外	135	15.0
性別	男性	392	43.6
	女性	507	56.4
年齢別	16～19歳	8	0.9
	20～29歳	42	4.7
	30～39歳	149	16.6
	40～49歳	232	25.8
	50～59歳	240	26.7
	60～69歳	143	15.9
	70歳以上	85	9.5
職業別	自営業	75	8.3
	会社員	336	37.4
	団体職員	34	3.8
	公務員	44	4.9
	主婦・主夫	203	22.6
	学生	19	2.1
	無職	96	10.7
	その他	92	10.2

##### (2) 担当課

茨城県警察本部警務部県民安心センター広報企画係

電話：029-301-0110（代表） E-mail：keisomu1@pref.ibaraki.lg.jp